

Main Program

FaN Week 2026の
最新情報はこちら



ホームページ



公式Instagram

A 福岡市美術館

福岡市中央区大濠公園1-6

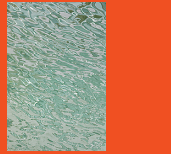
休館日 | 月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合は、その後の最初の平日 ※ただし、10月5日(月)は臨時開館し、10月6日(火)は臨時休館

コレクターズV - ALL MY LOVING - 9月19日(土)~10月5日(月)

9:30-17:30(金曜・土曜は20:00まで)
※入館は、閉館30分前まで
観覧料 | 一般200円(150円)、高大生150円(100円)
中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金



川久保ジョイ《白龍活》
2011年 永山祐子氏蔵



大瀬大祐《flow / float - 群青湖底水
墨染橋付近 #1》2023年 原田栄二氏蔵

Fukuoka Wall Art Project 2026 9月19日(土)~9月27日(日)

9:30-17:30(金曜・土曜は20:00まで)
※入館は、閉館30分前まで
観覧料 | 無料



[参考]2025展示風景

企画展×現代作家ファイル2026 「山内光枝展 潮ノ記」

9月8日(火)~12月20日(日)

9:30-17:30(金曜・土曜は20:00まで) ※入館は、閉館30分前まで
観覧料 | 一般200円(150円)、高大生150円(100円)
中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金



《つれづれ》2018年 福岡市美術館蔵



《潮トローインク》2014年 作家蔵
撮影:山中慎太郎(Qayumi)

B Artist Cafe Fukuoka

福岡市中央区城内2-5

休館日 | 月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合は、その後の最初の平日
※ただし、10月5日(月)は臨時開館し、10月6日(火)は臨時休館

ACFグランドスタジオ特別企画展

伊藤隆介

《福博風景考:時を駆ける少女は飛翔の夢を見るか?》

9月19日(土)~10月12日(月・祝)

11:00-19:00

観覧料 | 無料



第26回福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンスの成果展

9月19日(土)~10月5日(月)

11:00-19:00

観覧料 | 無料



C ONE FUKUOKA BLDG.

福岡市中央区天神1-11-1

休館日 | 期間中、休みなし

福岡現代作家ファイル2026

牛嶋均《シアター・オブ・ブレイグランド 記憶・身体・検証》

9月19日(土)~10月5日(月)

平日 11:00-20:00 / 土日祝 10:00-20:00

観覧料 | 無料



《グローブジャングル フラネター》2015年



《荔枝屋頂-共栖之樹》2025年

D 福岡アジア美術館

福岡市博多区下川端町3-1

休館日 | 水曜日 ※水曜日が祝日・振替休日の場合は、その後の最初の平日

アジア美術の歩き方 南アジア特別編 対立の先へ〜光の水脈をめぐる旅

9月19日(土)~2027年1月11日(月・祝)

9:30-18:00(金曜・土曜は20:00まで)

※入室は、閉室30分前まで

観覧料 | 一般1,000円、高大生800円

(年間/スポート) 中学生以下無料



ダリット・アート・ミュージアム(バンガラデシュ)
林清 2012 / 2026年、作家蔵

E 福岡国際センター

福岡市博多区築港本町2-2

ART FAIR ASIA FUKUOKA 2026

10月2日(金)~10月4日(日)

11:00-19:00(最終日は18:00まで)

※VIP Previewは、10月1日(木) 13:00-19:00

料金 | 前売券:2,500円、当日券:3,000円

※いずれも3日間通し券



ご案内

※福岡市美術館、福岡アジア美術館では、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人、特定医療費(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者本人は無料で観覧できます。
※なお、福岡市美術館では、福岡市・北九州市・熊本市及び鹿児島市で住所と65歳以上を確認できる証明書(運転免許証、個人番号カード等)の提示者本人は無料で観覧できます。
※諸般の事情により企画内容等を変更する場合がございます。最新情報はホームページと公式Instagramをご確認ください。

お問い合わせ

Fukuoka Art Next 推進委員会

TEL: 092-714-6109 (受付時間 平日 10:00-17:00)

MAIL: art-community.EPB@city.fukuoka.lg.jp

主催 Fukuoka Art Next 推進委員会



Fan Week 2026 パートナープログラム

Partner Program

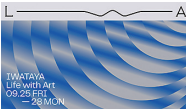
1 福岡市博物館 1999展—存在しないあの日の記憶—

10月10日(土)~2027年1月11日(月・祝)
9:30-17:30(最終入場は閉館の30分前まで)
福岡市早良区百道浜3-1-1
※休館日は月曜日(月曜日が祝日にあたる場合はその翌平日)
主催 | 1999展福岡 実行委員会



2 岩田屋本店 本館7階 大催事場 / 本館2階 Gallery CONTAINER 岩田屋本店 天神開業90周年 IWATAYA Life with Art

9月25日(金)~9月28日(月)
本館7階 大催事場 10:00~19:00(最終日17:00終了)
本館2階 Gallery CONTAINER 10:00~20:00
福岡市中央区天神2-5-35
主催 | 株式会社岩田屋三盛



3 ソラリアパークサイドギャラリー つながる。新聞はつくる展 —新聞紙で人とまちをつなぐ—

9月1日(火)~9月30日(水) 5:00-24:30
福岡市中央区天神2-1-1 ソラリアターミナルビル1F
(福岡三越横濱公園公園の通路)
主催 | 新聞はつくるアーティストmie(寺崎美恵)



4 ソラリアパークサイドギャラリー 色鉛筆で蘇るうちの子アート

10月1日(木)~10月29日(木)
5:00-24:30
福岡市中央区天神2-1-1 ソラリアターミナルビル1F
(福岡三越横濱公園公園の通路)
主催 | 色鉛筆でよみがえるうちの子アート
and 藤崎ベント色鉛筆教室、高山麗



5 lyf天神福岡 lyf Tenjin Fukuoka × yatotto A Textile Showcase & Pop-up ~ Woven Connections ~

10月1日(木)~11月1日(日) 常時観覧可能
福岡市中央区今泉1-2-13 3F
主催 | lyf天神福岡(ライフデザインフクオカ)



6 ONE FUKUOKA BLDG. CULTURE MONTH

9月1日(火)~10月5日(月)
ONE FUKUOKA BLDG.営業時間中
福岡市中央区天神1-11-1
主催 | 西日本鉄道株式会社



7 ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL SICF Fukuoka

9月19日(土)~9月22日(火・祝)
12:00-19:00
福岡市中央区天神1-11-1
主催 | 西日本鉄道株式会社、
株式会社ワコールアートセンター



8 大丸福岡天神店 各階 ・大丸館内がミュージアムに／ アートとファッションを楽しむ2WEEKS

9月16日(水)~9月29日(火)
大丸福岡天神店営業時間中
福岡市中央区天神1-4-1
主催 | 株式会社 博多大丸



9 大丸福岡天神店 東館エルガー5階 CALL COFFEE \アートプロジェクト始動!/ 『ARTKORO(アートコロ)』 -Artist Cafe Fukuoka×CALL COFFEE×大丸-

9月16日(火)~10月20日(火) 10:00-19:00
福岡市中央区天神1-4-1
主催 | 株式会社 博多大丸



10 大丸福岡天神店 東館エルガー5階 アートギャラリー 徳田八十吉展

9月23日(水・祝)~9月29日(火)
10:00-20:00 ※最終日は16:00閉場
福岡市中央区天神1-4-1
主催 | 株式会社 博多大丸



11 ザロイアルパーク キャンパス 福岡中洲 2F キャンパスラウンジ HIBIGEI ART PROJECT <HOTEL>

9月19日(土)~10月7日(水)
14:00-23:30 ※カフェバー 営業時間内
福岡市博多区中洲5-6-20
主催 | 株式会社ふくこと



12 上川端商店街内 福岡市民がつくる大アート展 ～誰もがアーティスト!～

9月16日(水)~30日(木) ※川端商店街掲載期間
常時観覧可能
主催 | 一般社団法人 福岡青年会議所



13 WeBase 博多 TRIP展 | 旅するアートたち×北村あさみ

10月10日(土)~10月12日(月・祝)
12:00-20:00
福岡市博多区店屋町5-9
主催 | WeBase 博多、Hope Lab LLC



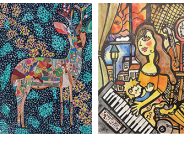
14 筑前国一之宮 住吉神社 博多21の会 文化の祭典

イベント | 9月26日(土)
アート展示 | 9月26日(土)~10月5日(月)
11:00-17:00
福岡市博多区住吉3-1-51
主催 | 一般社団法人 博多21の会



15 JR博多シティ まごころアート FUKUOKA GALLERY

9月2日(金)~2027年2月2日(火)
10:00-22:00
※年末年始など、営業時間変更となる場合がございます。
福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR博多シティ9F
主催 | 株式会社JR博多シティ



16 博多阪急 HAKATA HANKYU ART PARTY 2026 since2020

9月23日(水・祝)~10月6日(火)
10:00-20:00 ※最終日は18:00終了
福岡市博多区博多駅中央街1-1
主催 | 株式会社阪急阪神百貨店 博多阪急



17 HAKATA LAB HAKATA LAB Art Project Vol.2

8月1日(土)~10月31日(土)
8:00-21:00
福岡市博多区博多駅中央街5-3 ホテルクリオコート博多2階
主催 | HAKATA LAB



18 博多駅周辺各所 HAKATA ART MONTH

9月2日(水)~10月17日(土) ※期間は会場により異なります
① 中村ふく氏作品展示
THE BLOSSOM HAKATA Premier フロントロビー
② オープニングイベント「1000HAKATA」
JR博多駅前広場 小規模イベントスペース
③ 「100のHAKATA」in 博多区役所
福岡市博多区博多駅前2丁目8-1 博多区役所 多目的スペース
④ 博多灯明ウォッチング2026
JR博多駅 2階ベデストリアンデッキ～承天寺通り
⑤ 博多まちづくりミートアップ
福岡市博多区博多駅中央街5-3 ホテルクリオコート博多2階 HAKATA LAB(ハカタラボ)
福岡市中央区城内2-5 Artist Cafe Fukuoka



19 能古島キャンプ村 第27回 ISLA DE SALSA(イスラ・デ・サルサ) - World Beat 祭り -

9月19日(土) 開場 12:00 / 開演 13:00 / 終演: 21:00
※時間は変更になる可能性があります。
福岡県福岡市西区能古島
主催 | NPO法人 ティエンボ・イベロアメリカノ / RKB毎日放送



20 エイドケアカレッジ経理校 ここから生まれるアートのかたち

9月12日(土)、9月23日(水・祝)
11:00-18:00
福岡市西区坂の浜6-4-4
主催 | 株式会社エイド ART WITH ME エイドケアカレッジ経理校



21 福岡市立南市民センター／塩原音楽・演劇練習場 Minamiku Art Next Collection2026

10月3日(土)~10月4日(日)
10:00-16:00
福岡市南区塩原2-8-2
主催 | Minamiku Art Next事務局



22 INN THE PARK FUKUOKA Synapse Festival

10月2日(金)15:00-10月4日(日)17:00
福岡市西区西戸崎18-26
主催 | Synapse Festival実行委員会



※枠内のプログラムは裏面のマップには掲載しておりません。

Fan Week 2026 ギャラリープログラム

Gallery Program

1 みぞえ画廊 手嶋大輔展 Perspective / 視点

9月5日(土)~9月27日(日)
10:00-18:00 会期中無休
福岡市中央区地行浜1-2-5
主催 | みぞえ画廊



手嶋大輔「Pile up - No.2」2026年 H101 × W25 × D24 cm
構木・色鉛筆・油絵具・アクリル絵具・樹脂

2 みぞえ画廊 柴田七美展「無題」

10月10日(土)~10月25日(日)
10:00-18:00 会期中無休
福岡市中央区地行浜1-2-5
主催 | みぞえ画廊



柴田七美「無題」2026年 F100号
キャンバス・油彩

4 YUGEN Gallery FUKUOKA 言葉のあと、意味のそと

9月11日(金)~10月4日(日) ※火曜日休館
11:00-19:00 ※最終日のみ17:00終了
福岡市中央区大名2-1-4 ステーション1西通り4F
主催 | 株式会社ジーン



5 第1回 KINCAF 九州国際新世代アートフェア

10月2日(金)~10月5日(月) 11:00-19:00
主催 | SIGNAL Gallery
① メイン会場 ONE FUKUOKA BLDG. 6階 Presentation Room 1
福岡市中央区天神1-11-1
② サブ会場 SIGNAL Gallery
福岡市中央区今泉2-3-18



7 ART BASE KMY DIG THE ART

9月17日(木)~10月12日(月・祝)
12:00-20:00
福岡市博多区神屋町4-2
主催 | 株式会社JTL ART



8 ネコチクラ ネコチ藝サイ26

9月17日(木)~10月4日(日) 11:00-18:00
福岡市博多区上川端町9-35 冷泉荘A10
休館 | 月・火・水
主催 | ネコチクラ



10 OVERGROUND wild things

10月1日(木)~10月11日(日) 15:00-21:00
※Preview 10月1日(木)のみ18:00まで
※Artist Bar 10月1日(木)~4日(日) 18:00-21:00
福岡市博多区美野島1-17-5 寿ビル2F
主催 | OVERGROUND + Oh studio hiroshima



11 NOKATA-BASE 北村あさみ スクラッチアートの世界 LIVING IS ART

9月17日(木)~9月19日(土) 10:00-18:00
福岡市西区野方5-6-4-10
主催 | HopeLab合同会社
※予約制



※枠内のプログラムは裏面のマップには掲載しておりません。

まちに
ひろがる、
アートの
遊び場

FaN Week 2026

Fukuoka Art Next

- A - E メインプログラム
- 1 - 18 パートナープログラム
- 1 - 10 ギャラリープログラム
- A - L パブリックアート

メインプログラムとパブリックアートを巡ろう!

FaN Week 2026 デジタルスタンプラリー

期間 | 9月19日(土)~10月12日(月・祝)

協賛



スタンプラリー対象スポットを巡りデジタルスタンプを集めると、スタンプの数に応じてFaN Weekオリジナルノベルティをプレゼント! 更に12箇所以上のスタンプを集めると、豪華賞品が当たる抽選にも応募できます。この機会に街中のアートを巡ってスタンプラリーに参加しよう!

スタンプラリーの参加は
公式WEBサイトから



賞品

スタンプ5個 ■ オリジナルステッカー (先着1,000名様)

スタンプ8個 ■ オリジナルトートバッグ (先着1,000名様)

スタンプ12個 ... ■ JTB旅行券1万円分×2名様

※応募制・抽選

■ ONE FUKUOKA BLDG. 商品券1,000円分×10名様

■ ライジングゼファーフ福岡 観戦ペアチケット×5名様

※スタンプ12個賞品の応募には、
有料スポット(福岡市美術館+福岡アジア美術館)への入場が必要です。

※本マップには、メインプログラム・パートナープログラム・ギャラリープログラムの会場およびパブリックアートを掲載しています。

※なお、以下のプログラムの会場は本マップには掲載しておりません。デジタルマップをご確認ください。

パートナープログラム: 19, 20, 21, 22 / ギャラリープログラム: 11

FaN Week 2026 パブリックアート

Public Art

デジタルマップはこちら



A① ウィンド・スカルプチャー (SG) II

インカ・ショニバレ CBE / 福岡市美術館

風を受けてたなびく帆を思わせる、イギリスの現代美術家インカ・ショニバレによる大型彫刻。しなやかに力強い造形が特徴で、福岡市美術館所蔵の日本製アフリカンプリントをもとにデザインされ、海を越えた文化交流や多様性を表現している。



©Yinka Shonibare CBE, 2021.
Courtesy of James Cohan Gallery, New York
撮影:山中慎太郎 (Qsymul)

A② 南瓜

草間彌生 / 福岡市美術館

草間彌生が1994年に手がけた初の野外彫刻作品。鮮やかな黄色と水玉が特徴で、「ミュージアム・シティ・天神'94」のシンボルとして街に登場した。本作を皮切りに、様々な立体作品が制作され、現在では世界各地に展開。「南瓜」の原点となった記念碑的な作品である。



©YAYOI KUSAMA / 1994年
撮影:山中慎太郎 (Qsymul)

B① 影向

木林正典 / 大名ガーデンシティ・パーク

能舞台の鏡板に描かれる「影向の松」に、自己の解釈を加えコンテナラリーへと昇華させた作品。抽象化した枝葉と緑や赤の色彩が夜の光に溶け込み、古い伝説が今の街に静かに息づく情景を描いている。見る人の記憶や想像力にそっと語りかける作品である。



B② 大名の大狸犬

中村弘峰 / 大名ガーデンシティ・パーク

博多人形師・四代目中村弘峰による、子どもが登るなどして遊べるアート遊具。日本独自の狸犬と、ザ・リッツ・カールトン福岡のエンブレムであるライオンを融合し、地域の「ローカル」と「グローバル」をつなぐ守り神としてデザインされている。



C 犬と、

長谷川仁 / 天神西交差点付近

犬や植物に描かれた36色のドットは生物を構成している様々な要素を表しています。人や動物、植物など全ての生き物を作っている物質は36種類です。人だけでなく広く全ての生き物との繋がりを感じながら日々を暮らすことで、我々の暮らしはより大切に豊かなものになる。



D① Unexpected Companion

エステル・ストッカー / 天神住友生命FJビジネスセンター

現代美術家エステル・ストッカーによる作品。定期的に並ぶグリッドが立体へと変化する造形を通して、物事が変化し、新たな関係や可能性が生まれる瞬間を表現している。見る角度によって印象が変わり、空間の広がりや奥行きを感じられる作品である。



Photo courtesy of
ART FRONT GALLERY

D② Contemplation of Geometry

エステル・ストッカー / 天神住友生命FJビジネスセンター

平面的で規則的なグリッドが立体へと変化する様子を表現した作品。規則的な形が空間へと広がることで、物事が変化し、次のステージへと動き出す瞬間を描いている。イタリア出身の現代美術家、エステル・ストッカーによる作品。



Photo courtesy of
ART FRONT GALLERY

E walking wondering

牛嶋均 / 天神4丁目 渡辺北通り沿いの歩道

街歩きを楽しむ人たちの様子を、歩行する足のかたちのベンチでストレートに表現した。歩き象徴するデザインは、街歩きを楽しむ人々が休憩し街を見渡すためのベンチとして休息とコミュニケーションの場所をつくりだす。



F① Pixel Tree

Leandro Erlich / ONE FUKUOKA BLDG. 南西側広場

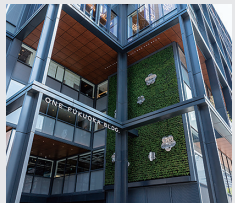
“現実の自然界”と“身の回りに存在するバーチャル”を組み合わせた、現代を象徴する作品です。ピクセル型の葉で構成された“木”を模したアートが、福岡であい通りの入口の広場を彩ります。



F② Future Bloom

Nicolai Bergmann / ONE FUKUOKA BLDG. 北西側広場

天神交差点のランドマークとなる、約12m×約8mの大規模な壁画緑化とアートのコラボレーション作品。天神にゆかりのある梅の花を、大小さまざまなステンレスで表現。季節や時間ごとの光の反射で変化する、梅の花と緑のさまざまな表情をお楽しみください。



F③ 《鯨の目》シリーズ 海の水／Blood of the sea・シラ:白の森

大小島 真木 / ONE FUKUOKA BLDG. 館内6F

命をめぐる豊穡な世界を巨大な鯨の姿に描き出し、見る人にエネルギーを与え、共に、「地球」という生態系で共に生きるとはどういうことかを考えさせます。大木を描いた作品は、この場所が地元の文化と異文化とのクロスングポイントとなる期待を込めています。



F④ 焼成隕石 - Ring Nebula -

クニト / ONE FUKUOKA BLDG. 館内6F

宇宙から粘土が落ちてきたら大気圏突入時の温度でやきものになるのでは? という着想から生まれた、スケールの大きな立体作品。通か彼方の宇宙に思いを馳せる、ダイナミックな視点をお楽しみください。



F⑤ Mi volas paroli

鹿児島 睦 / ONE FUKUOKA BLDG. 館内B2F-4F

館内地下2階~地上4階のエスカレーター横の壁面を舞台にした、道しるべとなる象徴(ぞうかん)アートスタイル作品。水中や陸上の多様な生物が訪れる人々を楽しげに出迎えます。



撮影:黒松美佐

F⑥ 境の石 天神

大西 康明 / ONE FUKUOKA BLDG. 館内4F

河原の石を銅箔で型取り、空間に配置する作品です。都市の建築の表と裏の境界部分に山や洞窟のようにも見える透過した風景が現れます。

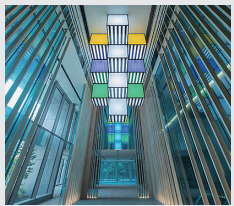


撮影:東堂美由紀

G① Light & Color, work in situ

ダニエル・ビュレン / 天神ビジネスセンター

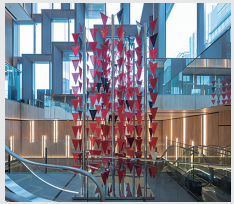
フランスを代表する現代美術家、ダニエル・ビュレンによる作品。天神ビジネスセンターの建築空間に合わせて制作され、色彩豊かな光と白黒のストライプが特徴。建築と一体となった空間演出により、訪れる人に光や色の変化を体感させるインスタレーション。



G② The question of the helix in a broken cross composition

アディナ・イオアヌ / 天神ビジネスセンター

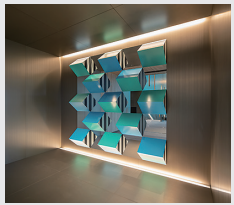
赤い布や着物を用いた幾何学的な三角形が、らせん状に広がる立体的な造形を生み出した作品。光の反射や透過によって表情を変え、建築や周囲の環境と調和しながら空間を彩っている。



G③ HG6 Alto Relieve

ダニエル・ビュレン / 天神ビジネスセンターII

白黒のストライプや鮮やかな色彩、鏡を組み合わせた壁面レリーフ作品。鏡面には周囲の景色や人々の姿が映り込み、その風景も作品の一部として取り込まれる。空間や鑑賞者との関係によって表情が変化し、訪れるたびに新たな発見や楽しみを生み出す作品である。



I 柱は柱

チェ・ジョンファ / 博多マリバイン フェスタスクエア

博多マリバインを彩るカラフルで派手な柱の作品。西洋と東洋に伝わる4つの建築様式の柱を重ね合わせることで、多様な文化が行き交い発展してきた博多を表現している。作者はユーモラスで色鮮やかな大規模作品を得意としている、韓国を代表する現代美術家の一人。



J SHIP'S CAT

ヤノベケンジ / WeBase博多外

博多が古くから海上交易で栄えた港町であることからイメージを膨らませ、航海中に船や積み荷を守った「船乗り猫」に着想を得た作品。建物から街を見守る姿が印象的で、「Nyappy (ニャーピー)」の愛称で親しまれ、地域のシンボルとして多くの人々に愛され続けている。



©2017 Kenji Yanobe

K Go With the Flow

ケイト・トムソン / 博多駅前2丁目大博通り沿いの歩道

「波(Wave)」をテーマにしたもので、都市でありながら美しい水(海、川)とともにある福岡の街をイメージしたものです。波は物事や人の「流れ」も表すことから、街を歩く動きのイメージもあります。



L UNTITLED

KYNE / 明治公園

KYNE初のパブリックアート作品。特徴的な空間となった明治公園のエントランス空間の一つを、アートで彩ります。

